

miratap

システムキッチン

プレティカ

組立設置説明書 01-PTK01S-00

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。



キャビネット・レンジフードなどの設置は、建築壁の構造を確かめて説明書どおりに正しく行ってください。
落下し、ケガをするおそれがあります。



電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
火災・感電・ガス漏れ・水漏れの原因になることがあります。



ステンレス製ワークトップを取扱うときは、必ず保護手袋をしてください。
切断面に触ると、ケガをするおそれがあります。



レンジフード横には不燃ウォールキャビネットを使用してください。
(詳しくは、所轄の消防署へ確認ください)
火災の原因になることがあります。



組込まれる電気製品・加熱機器・レンジフード・その他機器については、各説明書および本体の表示事項を守り、正しく設置してください。
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



注意

「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容



排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けしないでください。
排水能力の低下で、シンクから水があふれ、床を汚す原因になることがあります。



防臭キャップ・排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続を確実に行ってください。
水漏れや湿気で、床などが腐る原因になることがあります。



設置の仕上げに使用する溶剤・その他薬品類は、各注意表示に従って正しくお使いください。
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になることがあります。



棚板を設置するときは、棚受けをすき間のないよう根元まで確実に差し込んでください。
棚板がはずれ収納物が落下し、ケガをするおそれがあります。

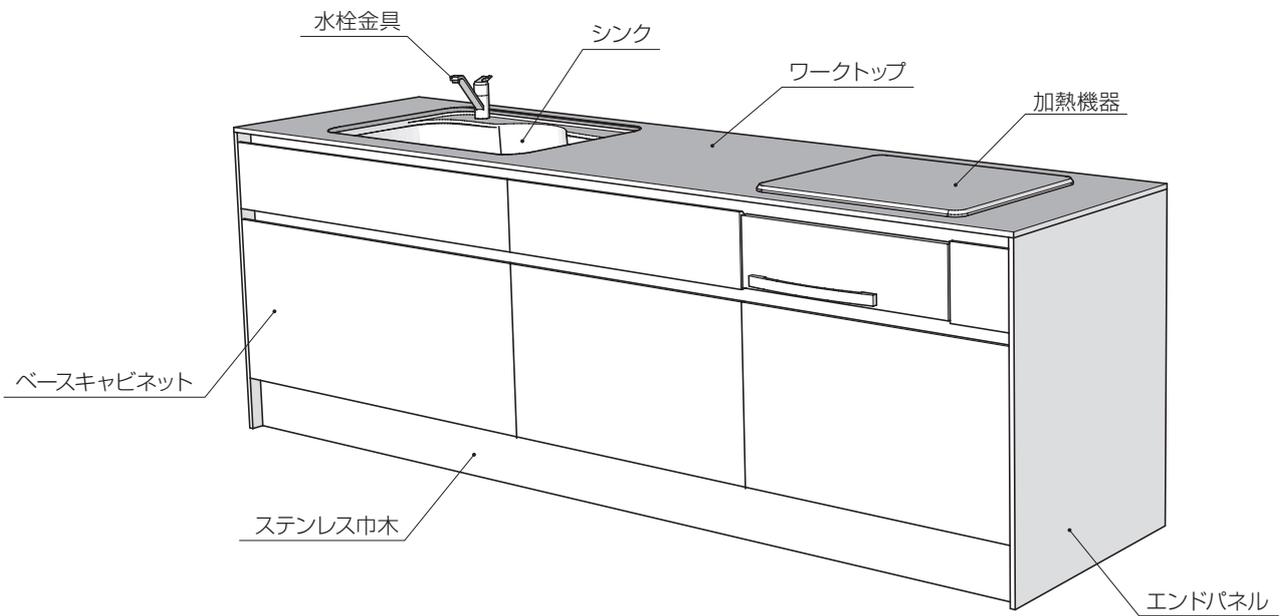
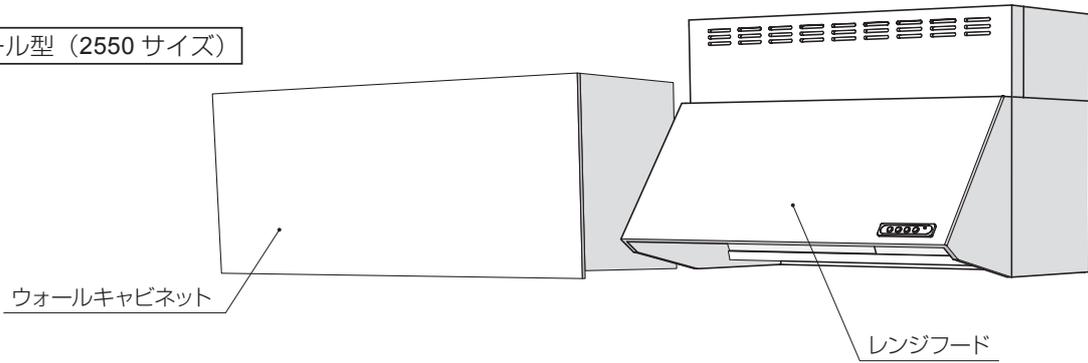


組立設置完了後は、引出し・扉のがたつきや丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。
落下し、ケガをするおそれがあります。

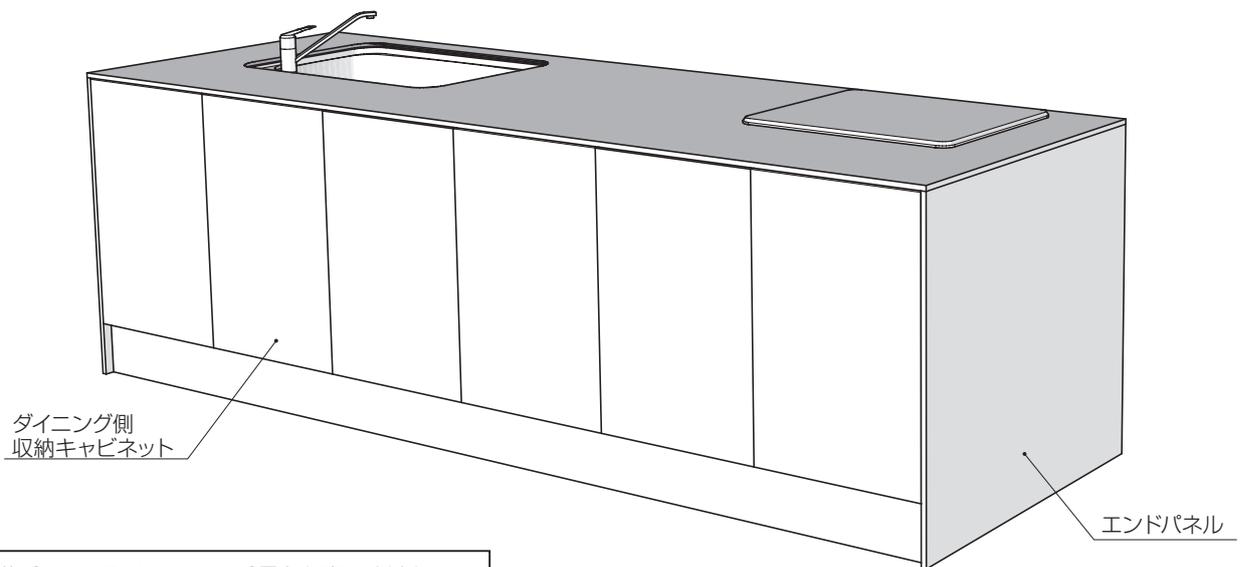
1 各部の名称

◎プレティカ

ウォール型 (2550 サイズ)



アイランド型 ダイニング側収納型 (2700 サイズ)



耐荷重については、下記の重量をお守りください。

- | | |
|-----------------|---------|
| ・棚板 (底板) 1 枚につき | 8kg まで |
| ・引出しヶ所につき | 12kg まで |

2 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず2人以上で手運びにて行ってください。
※ 車上渡しとなります。
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
※ 設置後の損傷は保証対象外となります。
- 引渡し完了まで、梱包の段ボールなどで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

《設置前の確認》

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上がが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
- 窓枠や建具の位置および寸法
- 取付用下地の位置および寸法(桧木45mm×100mm以上の強度のある硬い木材または12mm以上の合板)
- 必要な給水給湯管・排水管・ガス配管・電気配線の位置および接続方法
- ガス種・電圧(100V/200V)・周波数
- レンジフード用の開口(ダクト)の位置および寸法
- 火災予防条例に準拠したレンジフード・コンロの設置場所と可燃物の離隔寸法



キャビネット・レンジフードなどを取付ける取付用下地(桧木45mm×100mm以上または12mm以上の合板)が指定どおりに使用されていることを確認してから取付けてください。(取付用桧木に十分なネジ保持力がないと、使用中に落下し、ケガをするおそれがあります)

3 設置手順



- 取付け時には引出しや扉・棚板・棚ダボ等を取外して作業を行ってください。
また引出しや扉に汚れやキズが付かないように養生をして保管してください。
- 引出しを持つ場合は、必ず引出しの側板部分を持ってください。
(左右のパイプ部分を持つと外れて引出し本体が落下し、ケガをするおそれがあります)
- ネジ固定は、締めすぎによる空まわりをしないようにしてください。

1. ウォールキャビネット・レンジフードの取付け

① 取付用墨出し

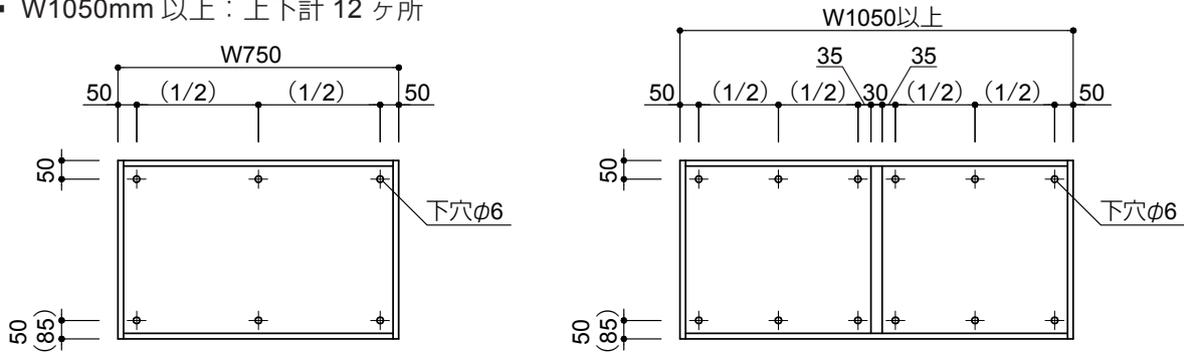
- ・ 仕上り床面を基準に、ウォールキャビネットの下端(または上端)の位置に墨出しします。

② 扉・棚板等の取外し

- ・ 取付ける前に扉・棚板・棚ダボを取外してください。(取外し方は取扱説明書の「各部の調整」を参照してください)

③ ウォールキャビネットの壁固定用下穴加工

- ・ ウォールキャビネットの背板に壁固定用ネジの下穴(φ6)を開けてください。
 - W750mm: 上下計 6ヶ所
 - W1050mm以上: 上下計 12ヶ所



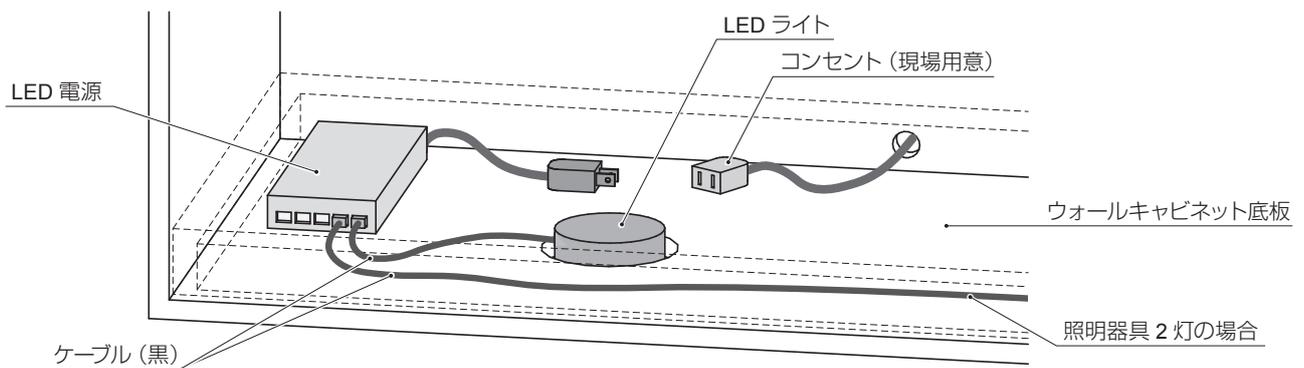
※ ()内寸法はダウンライトカバー設置の場合を示す。

④ ウォールキャビネットの取付け

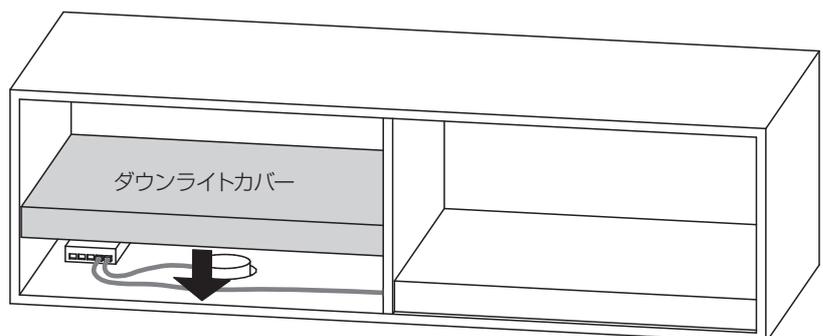
- ・ ウォールキャビネットを取付用の墨に合わせて、取付皿木ネジ 4.5 × 63 で壁面へ固定してください。
 - ※ ワッシャー・ネジキャップを必ず使用してください。
 - ※ ダウンライト付ウォールキャビネットの場合、取付時ウォールキャビネット背板引込み穴より電気配線を取込んでください。

⑤ ダウンライトの取付け (ダウンライト付ウォールキャビネットの場合)

- ・ 『LED ライト』と『ケーブル (黒)』を接続してください。
- ・ 『LED ライト』に『埋込カバー』を取付けた後、ウォールキャビネットの底板に取付けてください。
- ・ 『ケーブル (黒)』と『LED 電源』を接続した後、『LED 電源』をコンセント (現場用意) に接続してください。



- ・ ダウンライトカバーをウォールキャビネット内に取付けてください。
 - ※ キャビネット内を傷つけないように注意してください。



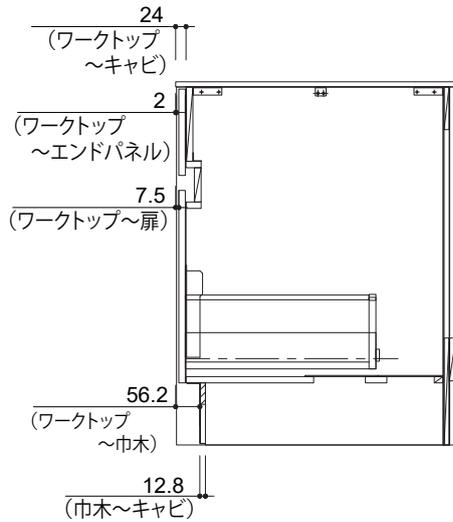
⑥ レンジフードの取付け

- ・ レンジフードに付属の説明書どおりに、正しく取付けてください。

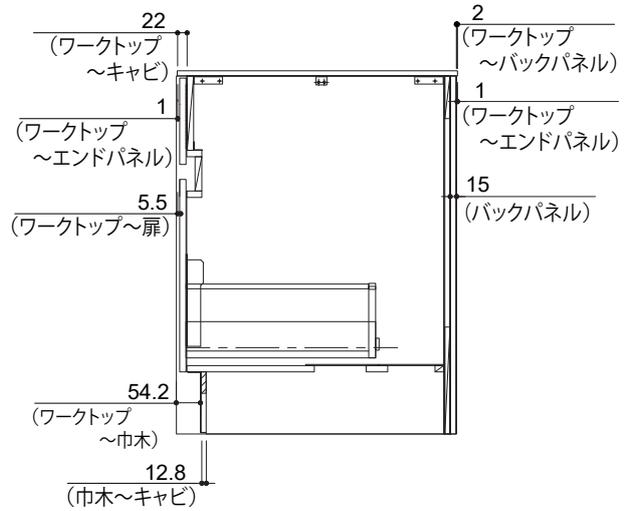
2. ベースキャビネットの取付け

◎ ベースキャビネット詳細設置基準 (単位: mm)

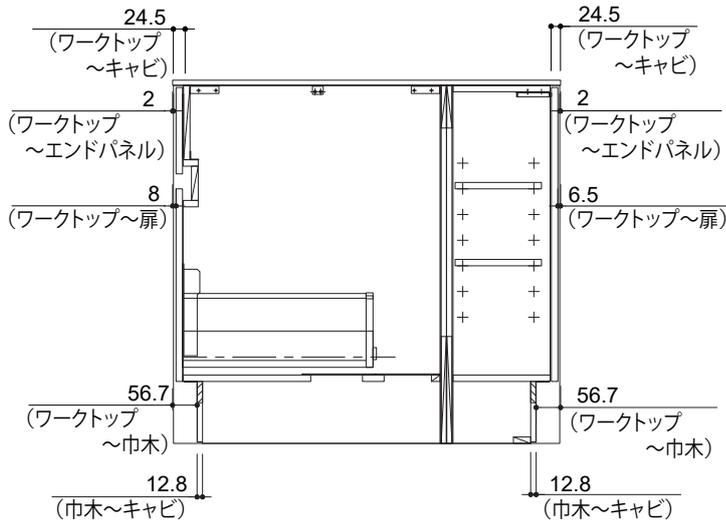
【ウォール型 詳細納まり図】



【バックパネル型 詳細納まり図】

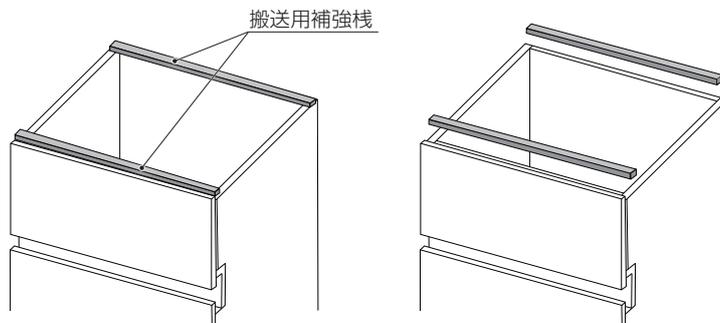


【ダイニング側収納型 詳細納まり図】



① キャビネット搬送用補強棧の取外し (人工大理石天板の場合のみ)

- ・天板が人工大理石仕様の場合、扉がキャビネットより飛び出すため、前後に搬送用補強棧がタッカーで取付けられています。
- ・キャビネットの設置は、搬送用補強棧を取外して行ってください。(下図参照)



キャビネット搬送用補強棧はタッカーで固定されています。外したあとはタッカーの針が飛び出ておりますので、取扱いに気をつけてください。

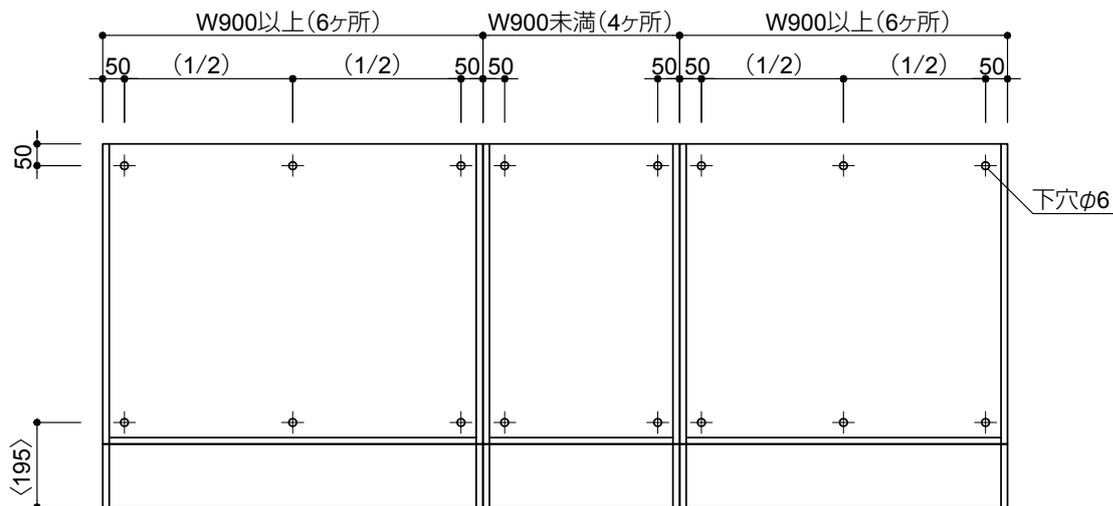
② 引出し・扉等の取外し

- ・ 取付ける前に、引出し・扉・棚板・棚ダボを取外してください。(取外し方は取扱説明書の「各部の調整」を参照してください)

③ ベースキャビネットの取付用下穴加工

《ウォール型の場合》

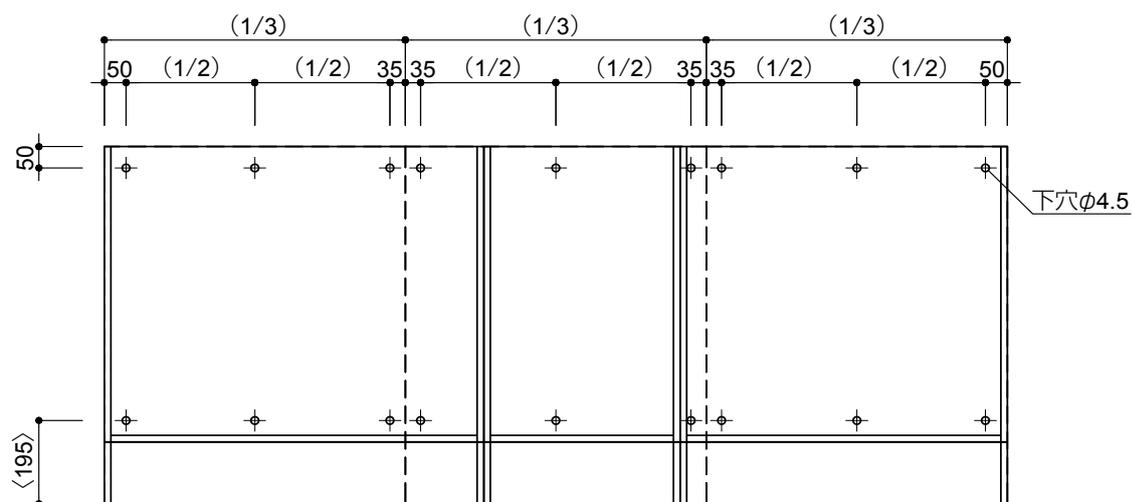
- ・ ベースキャビネットの背板に、壁取付用ネジの下穴(φ6)を開けてください。
 - W900mm 以上：上下計 6ヶ所
 - W900mm 未満：上下計 4ヶ所



- ※ $\langle \rangle$ 内寸法は天板高さH850mmの場合を示す。
天板高さH800mmの場合は、 $\langle \rangle$ 内寸法-50mmとする
天板高さH900mmの場合は、 $\langle \rangle$ 内寸法+50mmとする

《バックパネル型の場合》

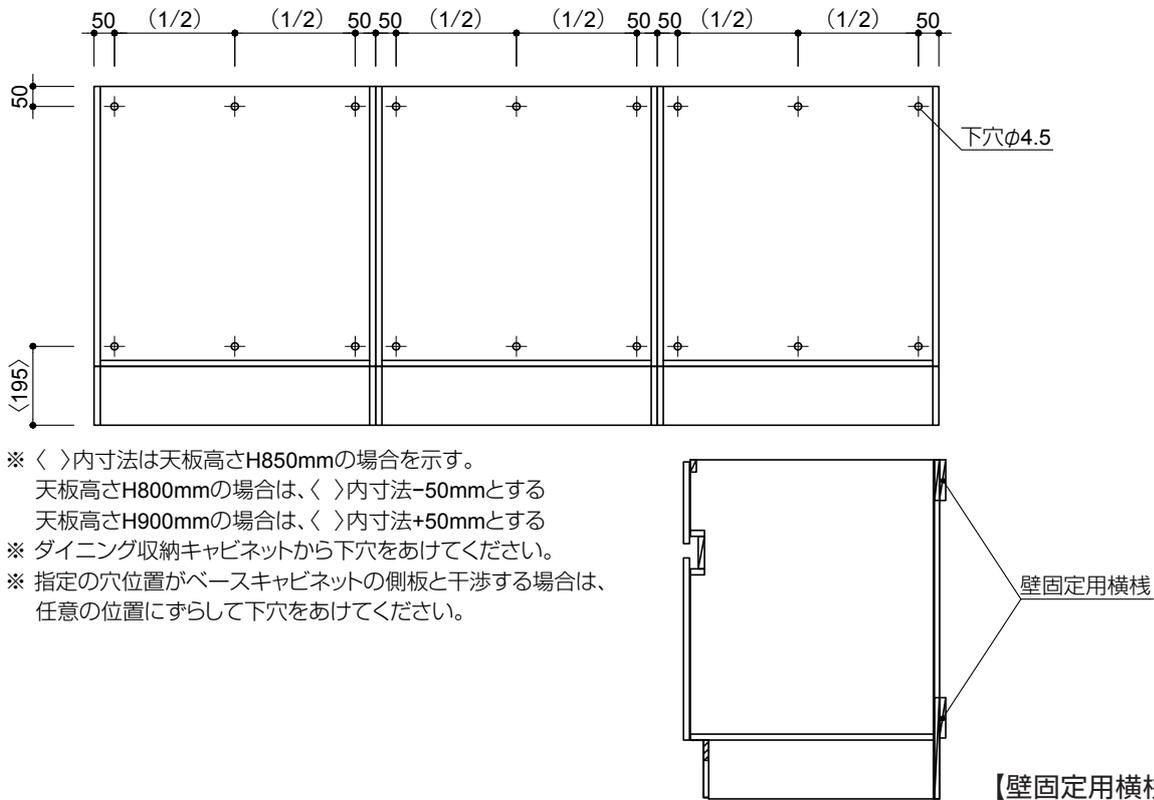
- ・ ベースキャビネットの背面に取付けられている壁固定用横棧木を上下とも取外してください。
- ・ ベースキャビネットの分割位置とバックパネルの分割位置がセット商品によって異なるため、確実に固定できるよう下穴(φ4.5)を開けてください。(バックパネル 1枚当たり 6ヶ所の下穴)



- ※ $\langle \rangle$ 内寸法は天板高さH850mmの場合を示す。
天板高さH800mmの場合は、 $\langle \rangle$ 内寸法-50mmとする
天板高さH900mmの場合は、 $\langle \rangle$ 内寸法+50mmとする
- ※ ---線はバックパネルのジョイント部を示す。
- ※ 指定穴位置が側板と干渉する場合は、任意の位置にずらして下穴を開けてください。

《ダイニング側収納型の場合》

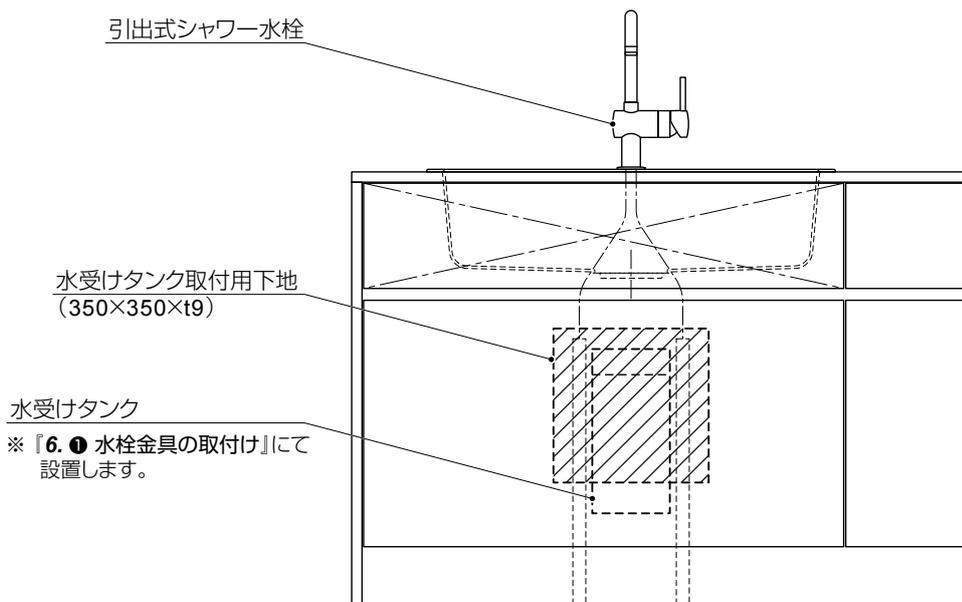
- ・ベースキャビネットの背面に取付けられている壁固定用横棧木を上下とも取外してください。
- ・ベースキャビネットの分割位置とダイニング側収納キャビネットの分割位置がセット商品によって異なるため、確実に固定できるようにダイニング側収納キャビネットに下穴（φ 4.5）を開けてください。
（ダイニング側収納キャビネット 1 台当たり 6 ケ所の下穴）



- ※ 〈 〉内寸法は天板高さH850mmの場合を示す。
天板高さH800mmの場合は、〈 〉内寸法-50mmとする
天板高さH900mmの場合は、〈 〉内寸法+50mmとする
- ※ ダイニング収納キャビネットから下穴をあけてください。
- ※ 指定の穴位置がベースキャビネットの側板と干渉する場合は、任意の位置にずらして下穴をあけてください。

④ 水受けタンク取付用下地の取付け

- ・必要に応じてシンクベースに同梱されている「水受けタンク取付用下地」（パーチ 350 × 350 × t9）をキャビネット背面裏側に両面テープ+接着剤（現場調達）にて固定してください。



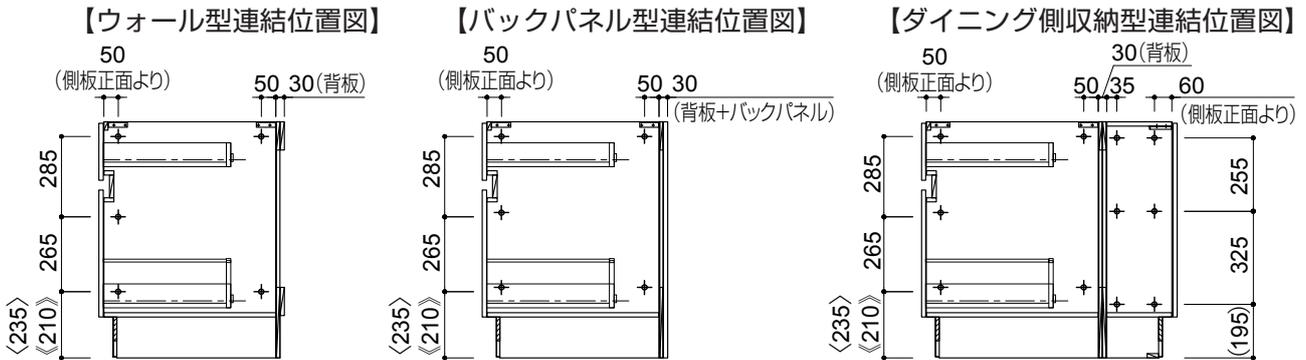
- 詳細な設置方法は水受けタンクに付属の説明書を確認してください。
- タンクの取付位置については、現場にてご検証ください。

⑤ 配管・配線の取だし穴加工

- ・ ベースキャビネットの底板点検口または背板に、必要に応じた配管・配線の取だし穴を開けてください。
- ・ 食洗機を設置する場合はシンクキャビネットの食洗機側の側板奥下を切欠いてください。(切欠き位置は設備図面を参照してください)

⑥ ベースキャビネットの連結用下穴加工

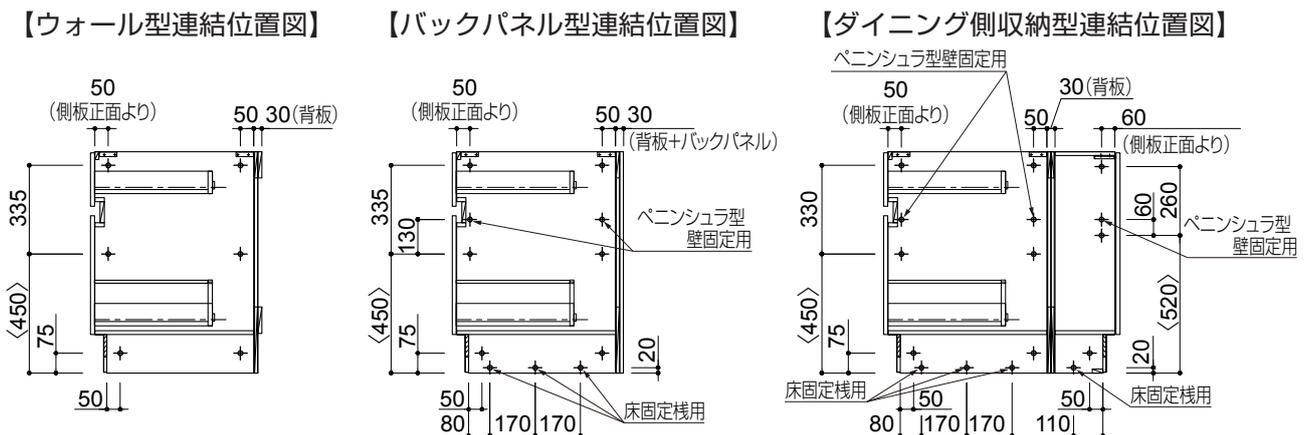
- ・ キャビネットを仮設置し、中央のキャビネットの両側板に連結用下穴 ($\phi 4.5$) を開けてください。
- ・ ダイニング側収納型の場合も同様にダイニング側収納キャビネットに連結用下穴 ($\phi 4.5$) を開けてください。



- ※ ()内寸法は天板高さH850mmの場合を示す。
- ※ < >内寸法はサイレントレールタイプの天板高さH850mmの場合を示す。
- ※ << >>内寸法はスタンダードレールタイプの天板高さH850mmの場合を示す。
天板高さH800mmの場合は、()< ><>>内寸法-50mmとする
天板高さH900mmの場合は、()< ><>>内寸法+50mmとする

⑦ エンドパネル取付用、床固定用・壁固定用下穴加工

- ・ エンドパネルを取付けるキャビネットの側板に取付用下穴 ($\phi 4.5$) を開けてください。
- ・ ペニンシュラ設置、アイランド設置の場合は、オープン側の側板に床固定用下穴 ($\phi 6$ 皿穴加工あり) を開けてください。
- ・ ペニンシュラ設置の場合は、壁側の側板に壁固定用下穴 ($\phi 6$ 皿穴加工あり) を開けてください。



- ※ < >内寸法は天板高さH850mmの場合を示す。
・ 天板高さH800mmの場合は、< >内寸法-50mmとする
・ 天板高さH900mmの場合は、< >内寸法+50mmとする
- ※ 床固定用・壁固定用下穴は皿穴加工をしておくことで、後のエンドパネルの取付けが綺麗に仕上がります。

■ ウォール型の場合 ※ バックパネル型は P12~13、ダイニング側収納型は P14 ~ 16 参照

⑧ エンドパネルの取付け

- ・ ⑦で加工した下穴からエンドパネルを取付皿木ネジ 4.1 × 28 で固定してください。
- ・ キャビネットの下端を基準にして固定してください。
 - ※ ワッシャー、ネジキャップを必ず使用してください。ワッシャーを使用しないで固定した場合、突き抜ける可能性があります。
 - ※ エンドパネルの厚さは 15mm です。ネジの長さを確認してください。

⑨ ベースキャビネットの仮設置・キャビネット同士の連結

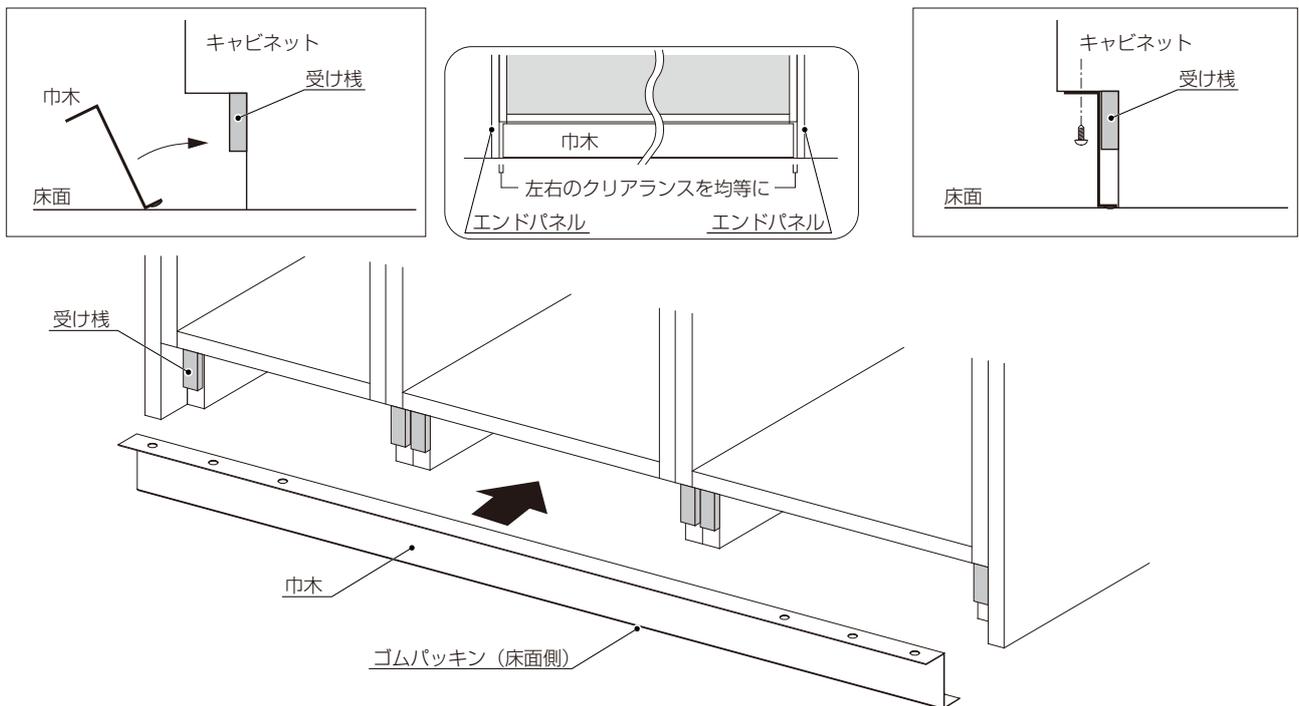
- ・ ベースキャビネットを仮設置し、⑥で加工した下穴から取付皿木ネジ 4.1 × 28 で連結してください。
 - ※ ワッシャー、ネジキャップを必ず使用してください。ワッシャーを使用しないで固定した場合、突き抜ける可能性があります。
 - ※ ネジの長さを確認してから固定してください。

⑩ キャビネットの固定

- ・ ベースキャビネットの水平レベルを確認して、取付皿木ネジ 4.5 × 63 で壁面へ固定してください。
 - ※ ワッシャー、ネジキャップを必ず使用してください。
 - ※ 配管・配線への干渉がないことを確認してから固定してください。
 - ※ 水準器（オートレーザー）などで必ず水平レベルを確認して固定してください。

⑪ ステンレス巾木の取付け

- ・ 巾木を床面に押し当てながらキャビネット下にはめ込み、下から L 型ドライバー等を用いて付属の取付 A トラスタッピングネジ 3.5 × 12 で固定してください。



- 巾木を取扱うときは、必ず保護手袋をしてください。（切断面に触るとケガをするおそれがあります）
- 左右のクリアランスを均等にして取付けてください。
- 正しい手順で取付けてください。（巾木の反り・外れの原因になります）

※ 次手順は P16 『3. ワークトップの取付け』 以降をご参照ください。

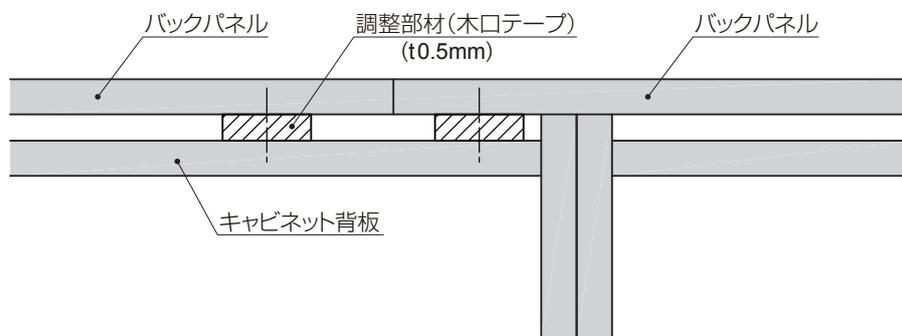
■ バックパネル型の場合

⑧ ベースキャビネットの仮設置・キャビネット同士の連結

- ・ベースキャビネットを仮設置し、⑥で加工した下穴から取付皿木ネジ 4.1 × 28 で連結してください。
 - ※ ワッシャー、ネジキャップを必ず使用してください。ワッシャーを使用しないで固定した場合、突き抜ける可能性があります。
 - ※ ネジの長さを確認してから固定してください。

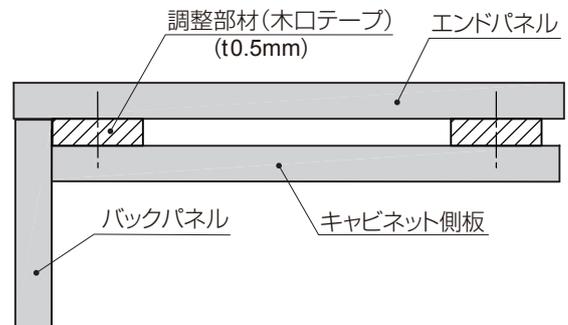
⑨ バックパネルの取付け

- ・バックパネル型は、③で加工した下穴から取付皿木ネジ 4.1 × 28 で固定してください。
 - ※ ワッシャー、ネジキャップを必ず使用してください。ワッシャーを使用しないで固定した場合、突き抜ける可能性があります。
 - ※ ネジの長さを確認してから固定してください。
 - ※ パネルの面が合わない等で微調整が必要な場合は、シンクキャビネットに同梱されている調整部材（木口テープ t0.5mm）を使用して調整してください。



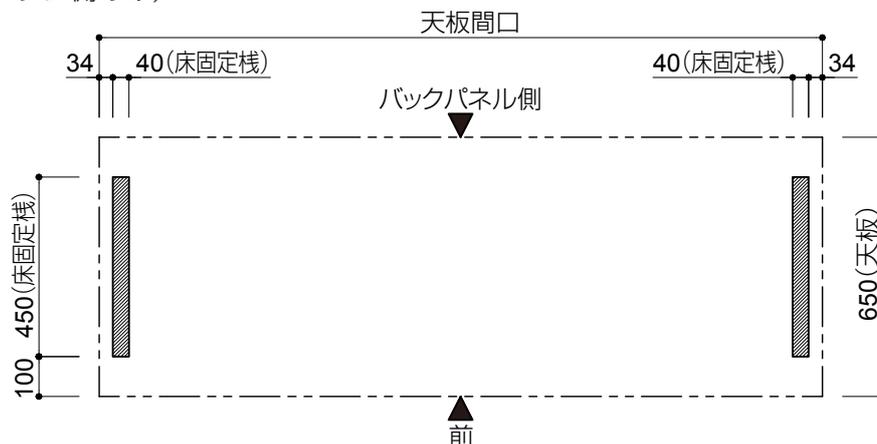
⑩ 壁側エンドパネルの取付け（ペニンシュラの場合のみ）

- ・エンドパネルを⑦で加工した下穴から取付皿木ネジ 4.1 × 28 で固定してください。
 - ※ エンドパネルの固定はワッシャー、ネジキャップを必ず使用してください。ワッシャーを使用しないで固定した場合、突き抜ける可能性があります。
 - ※ パネルの面が合わない等で微調整が必要な場合は、シンクキャビネットに同梱されている調整部材（木口テープ t0.5mm）を使用して調整してください。



⑪ キャビネットの固定

- ・同梱の床固定棧を下図の位置に取付皿木ネジ 4.5 × 63 で床面に固定してください。（ペニンシュラ設置の場合はオープン側のみ）



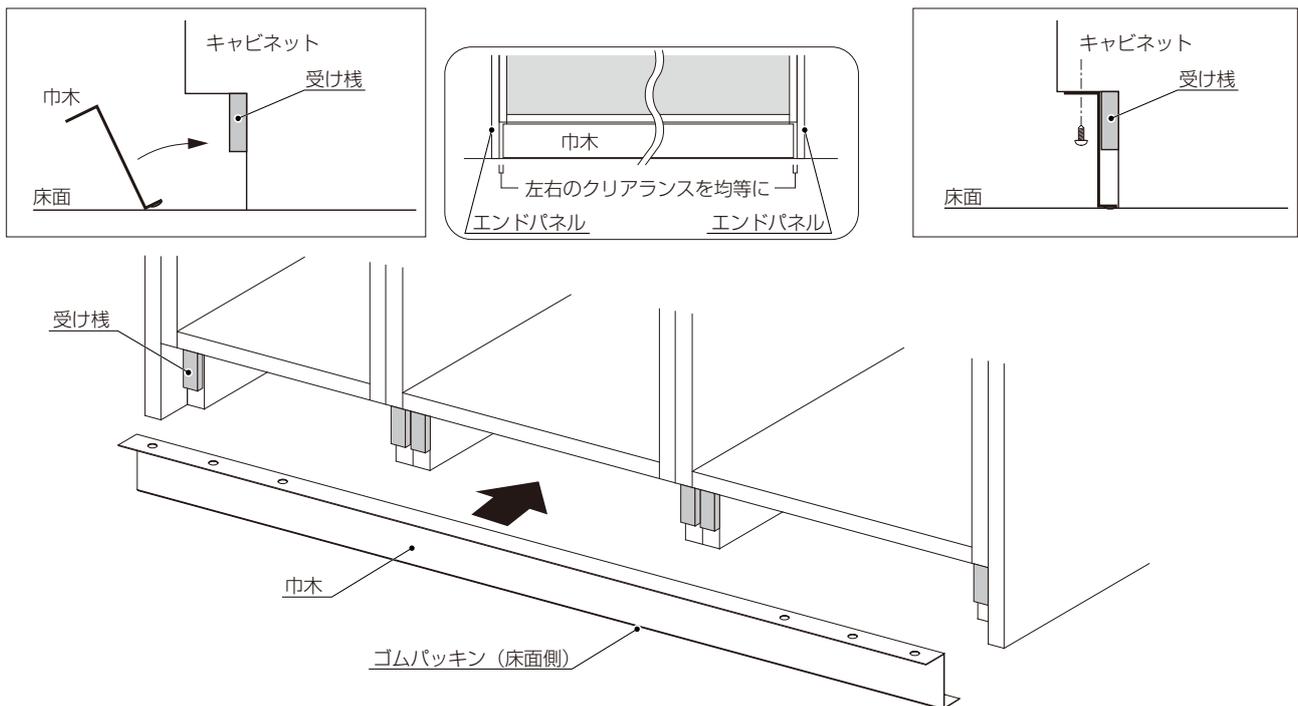
- ・ 床に固定した床固定棧の位置に合わせてキャビネットを被せるように設置し、床固定棧とキャビネット側板の隙間に付属のクサビ型のスペーサーを必ず挟んで、⑦で加工した床固定棧用下穴から取付皿木ネジ 4.5 × 38 で固定してください。(ペニンシュラ設置の場合はオープン側のみ)
- ・ 床固定後、ペニンシュラ設置の場合は⑦で加工した壁面固定用下穴から取付皿木ネジ 4.5 × 63 で固定してください。
 - ※ 配管・配線への干渉がないことを確認してから固定してください。
 - ※ 水準器（オートレーザー）などで必ず水平レベルを確認して固定してください。

⑫ オープン側エンドパネルの取付け

- ・ ⑦で加工した下穴からエンドパネルを取付皿木ネジ 4.1 × 28 で固定してください。
 - ※ キャビネット奥行きセンター振り分けで取付けてください。
 - ※ ワッシャー、ネジキャップを必ず使用してください。ワッシャーを使用しないで固定した場合、突き抜ける可能性があります。
 - ※ エンドパネルの厚さは 15mm です。ネジの長さを確認してください。
 - ※ パネルの面が合わない等で微調整が必要な場合は、シンクキャビネットに同梱されている調整部材（木口テープ t0.5mm）を使用して調整してください。（⑩参照）

⑬ ステンレス巾木の取付け

- ・ 巾木を床面に押し当てながらキャビネット下にはめ込み、下から L 型ドライバー等を用いて付属の取付 A トラストッピングネジ 3.5 × 12 で固定してください。



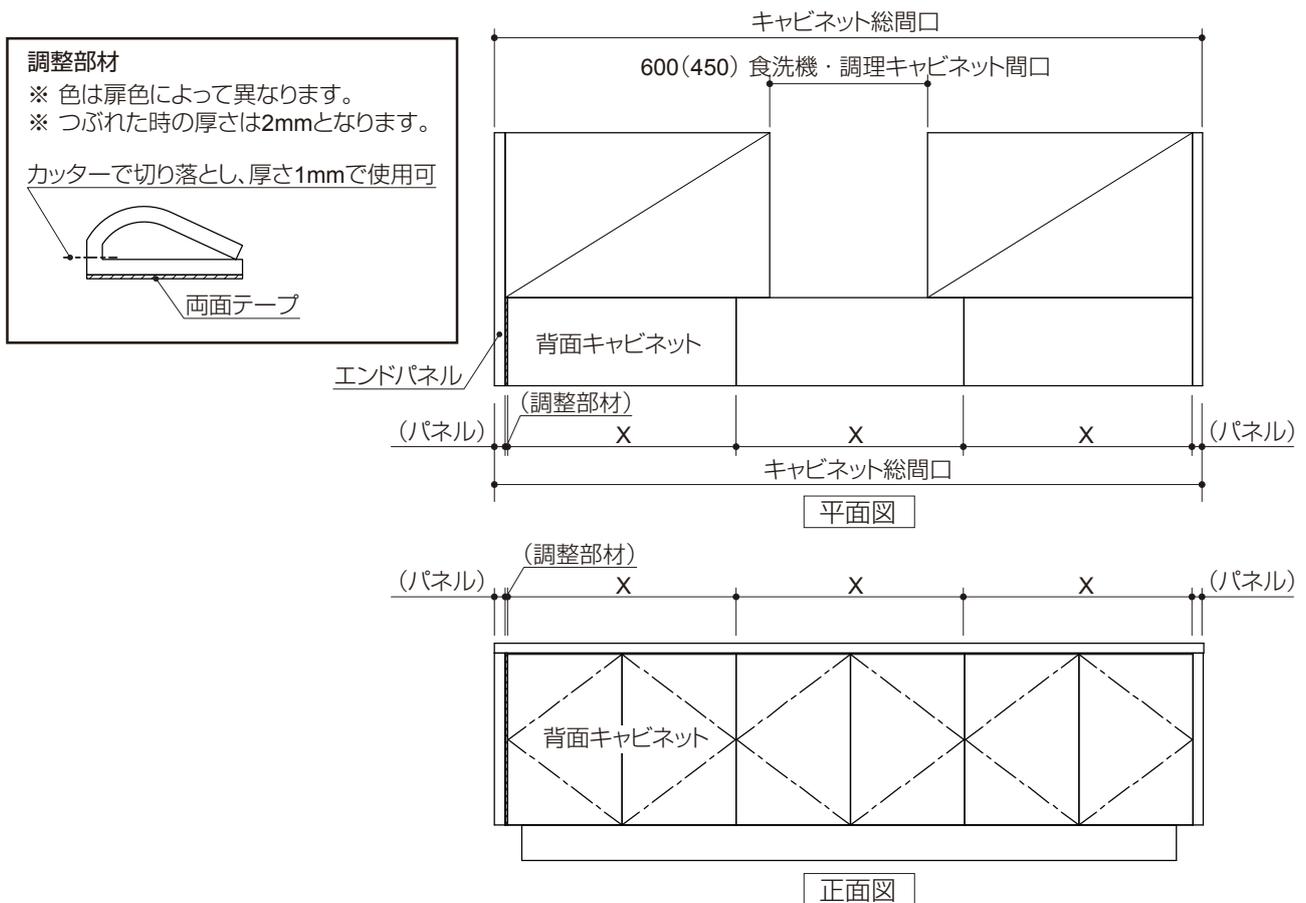
- 巾木を取扱うときは、必ず保護手袋をしてください。（切断面に触るとケガをするおそれがあります）
- 左右のクリアランスを均等にして取付けてください。
- 正しい手順で取付けてください。（巾木の反り・外れの原因になります）

※ 次手順は P16 『3. ワークトップの取付け』 以降をご参照ください。

■ ダイニング側収納型の場合

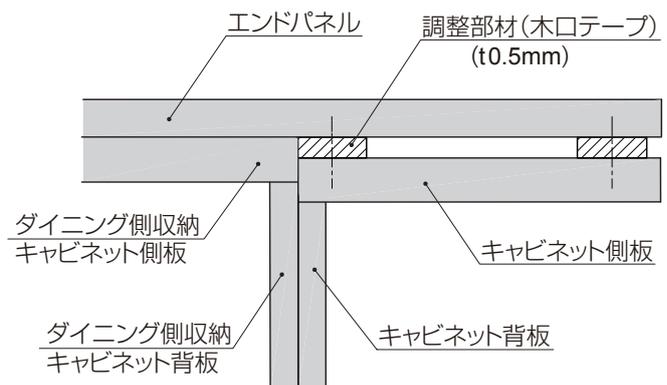
⑧ ベース / ダイニング側収納キャビネットの仮設置・キャビネット同士の連結

- ・ ベースキャビネットを仮設置し、⑥で加工した下穴から取付皿木ネジ 4.1 × 28 で連結してください。
- ・ ダイニング側収納キャビネットも同様に、取付皿木ネジ 4.1 × 28 で連結してください。
- ・ それぞれキャビネットを連結した後、背中合わせにして③で加工した下穴からベースキャビネットとダイニング側収納キャビネットを取付皿木ネジ 4.1 × 28 で固定してください。
 - ※ ワッシャー、ネジキャップを必ず使用してください。ワッシャーを使用しないで固定した場合、突き抜ける可能性があります。
 - ※ ネジの長さを確認してから固定してください。
 - ※ ベースキャビネットとダイニング側収納キャビネットの総間口に誤差が発生する場合は、シンクキャビネットに同梱されている調整部材（防虫パッキン）を使用して調整してください。



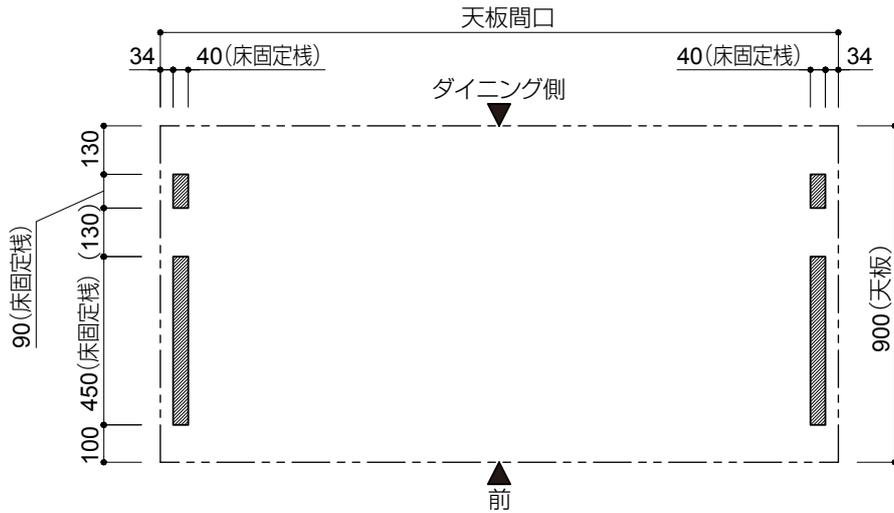
⑨ 壁側エンドパネルの取付け（ペニンシュラの場合のみ）

- ・ エンドパネルを⑦で加工した下穴から取付皿木ネジ 4.1 × 28 で固定してください。
 - ※ エンドパネルの固定はワッシャー、ネジキャップを必ず使用してください。ワッシャーを使用しないで固定した場合、突き抜ける可能性があります。
 - ※ パネルの面が合わない等で微調整が必要な場合は、シンクキャビネットに同梱されている調整部材（木口テープ t0.5mm）を使用して調整してください。



⑩ キャビネットの固定

- ・ 同梱の床固定棧を下図の位置に取付皿木ネジ 4.5 × 63 で床面に固定してください。(ペニンシュラ設置の場合はオープン側のみ)



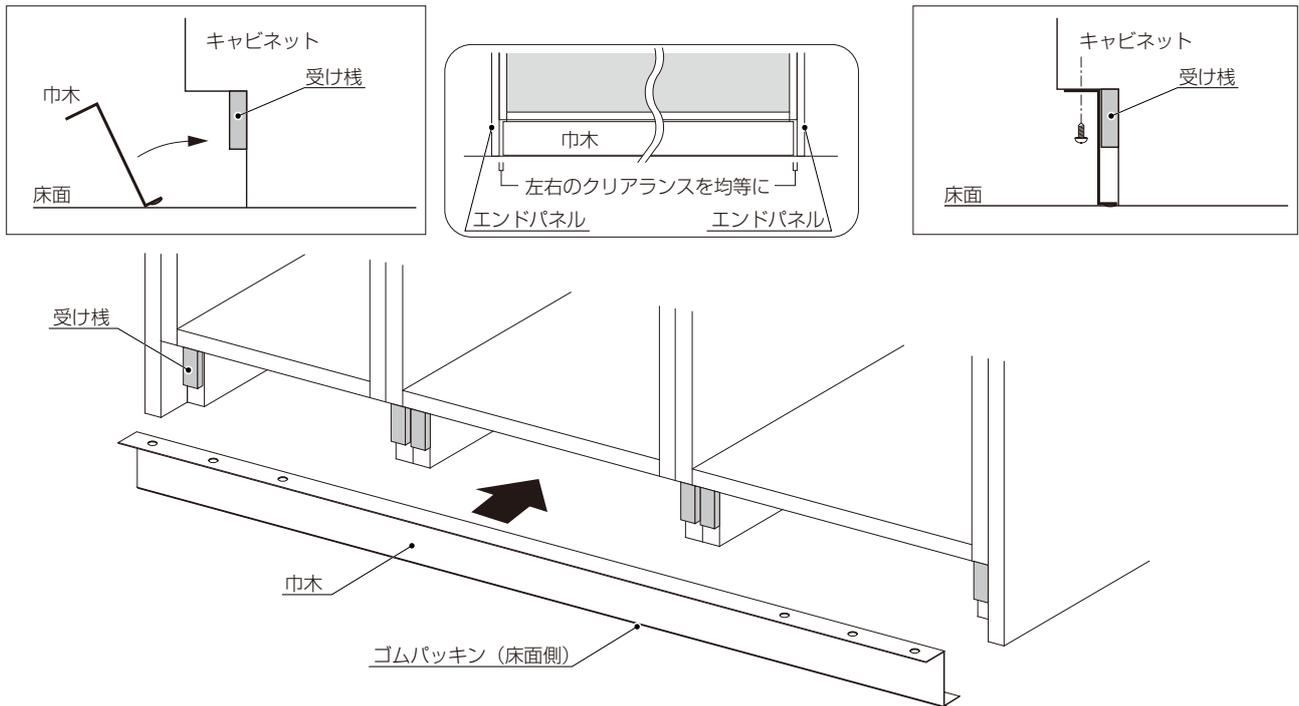
- ・ 床に固定した床固定棧の位置に合わせてキャビネットを被せるように設置し、床固定棧とキャビネット側板の隙間に付属のクサビ型のスペーサーを必ず挟んで、⑦で加工した床固定棧用下穴から取付皿木ネジ 4.5 × 38 で固定してください。(ペニンシュラ設置の場合はオープン側のみ)
- ・ 床固定後、ペニンシュラ設置の場合は⑦で加工した壁面固定用下穴から取付皿木ネジ 4.5 × 63 で固定してください。
 - ※ 配管・配線への干渉がないことを確認してから固定してください。
 - ※ 水準器（オートレーザー）などで必ず水平レベルを確認して固定してください。

⑪ オープン側エンドパネルの取付け

- ・ ⑦で加工した下穴からエンドパネルを取付皿木ネジ 4.1 × 28 で固定してください。
 - ※ キャビネット奥行きセンター振り分けで取付けてください。
 - ※ ワッシャー、ネジキャップを必ず使用してください。ワッシャーを使用しないで固定した場合、突き抜ける可能性があります。
 - ※ エンドパネルの厚さは 15mm です。ネジの長さを確認してください。
 - ※ パネルの面が合わない等で微調整が必要な場合は、シンクキャビネットに同梱されている調整部材（木口テープ t0.5mm）を使用して調整してください。（⑨参照）

⑫ ステンレス巾木の取付け

- 巾木を床面に押し当てながらキャビネット下にはめ込み、下からL型ドライバー等を用いて付属の取付 A トラスタッピングネジ 3.5 × 12 で固定してください。



- 巾木を取扱うときは、必ず保護手袋をしてください。(切断面に触るとケガをするおそれがあります)
- 左右のクリアランスを均等にして取付けてください。
- 正しい手順で取付けてください。(巾木の反り・外れの原因になります)

3. ワークトップの取付け

① ワークトップの仮設置

- ベースキャビネットの上にワークトップを仮設置し、ワークトップとエンドパネルの左右両側のチリが均等になるように調整してください。

② ワークトップの取付け

- ベースキャビネットに仮設置したワークトップの裏面に、ワークトップ用の取付 A トラスタッピングネジ 3.5 × 12 でベースキャビネット内側のワークトップ固定金具から固定してください。
- ダイニング側収納型の場合、ダイニング側収納キャビネット側のワークトップ固定は、取付穴から取付皿木ネジ 4.1 × 28 で固定してください。(1キャビネット 6ヶ所)
 - ※ ワッシャー、ネジキャップを必ず使用してください。ワッシャーを使用しないで固定した場合、突き抜ける可能性があります。
 - ※ ネジの長さを確認してから固定してください。
 - ※ ワークトップ取付け後、水準器 (オートレーザー) などで必ず水平レベル・建ち等を確認して固定してください。

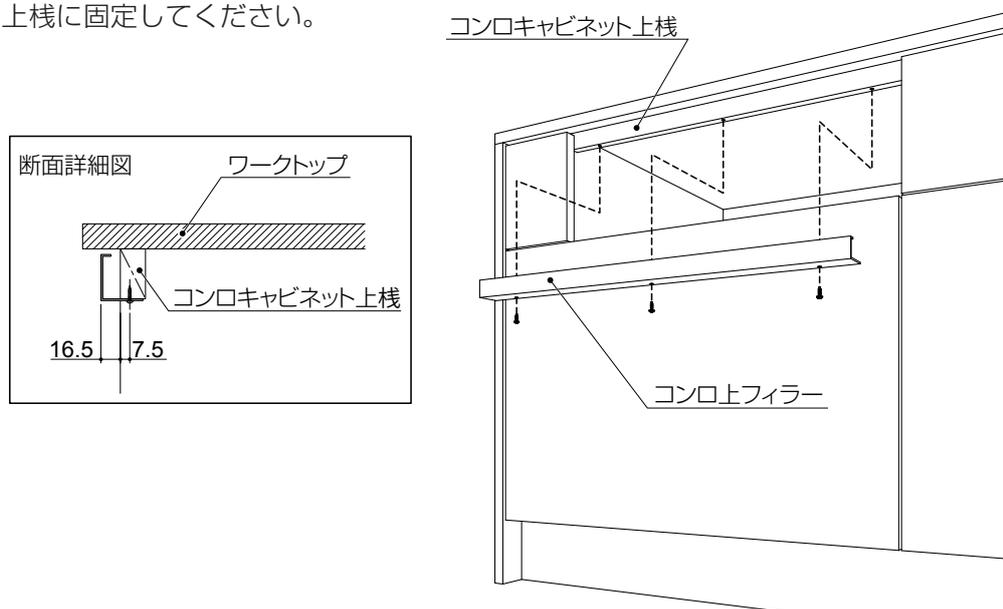


- ワークトップ端部でケガをしないよう注意してください。
- 開梱後にワークトップを持ち運ぶときは、必ず立てて持ち運んでください。(奥行方向を平らにして両端を持つと、変形の原因になります)

4. コンロ上フィルターの取付け（グリル有り加熱機器を選択の場合のみ）

※ 必ずコンロ設置前に取付けてください。コンロ設置後では取付けできません。

- ・コンロキャビネットの上棧にフィルターセンター位置の墨出しをしてください。
- ・フィルターに付属の取付ネジ（トラスタッピングφ 3.5 × 12 : 3本）にてフィルターの前面位置を確認し、上棧に固定してください。

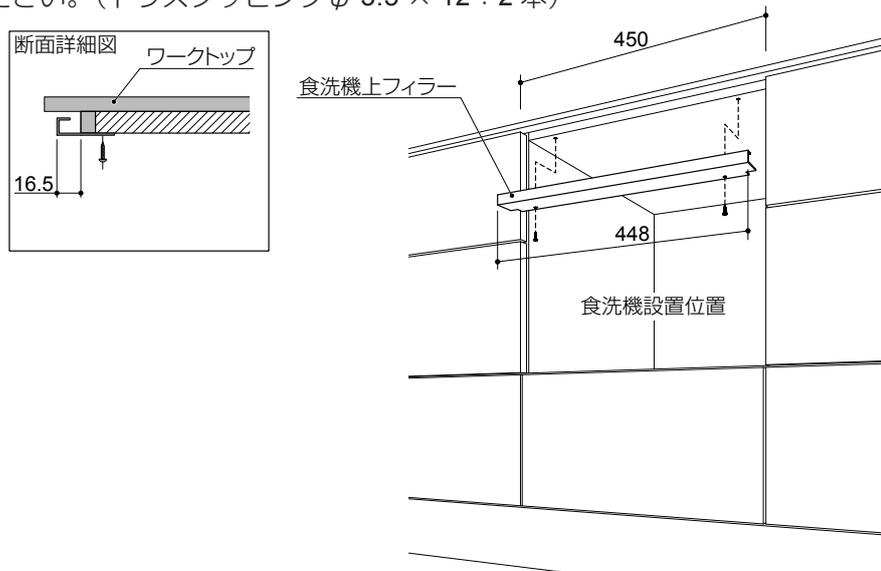


コンロ上フィルターの切り欠き部、端部に鋭利な箇所があります。取付時には保護手袋を着用してください。（切断面に触れるとケガをするおそれがあります）

5. 食洗機上フィルターの取付け（人工大理石天板かつ食洗機上設置の場合のみ）

※ 必ず食洗機設置前に取付けてください。食洗機設置後では取付けできません。

- ・キャビネットとワークトップを固定した後に、フィルターに付属の取付ネジにてワークトップ裏面に固定してください。（トラスタッピングφ 3.5 × 12 : 2本）

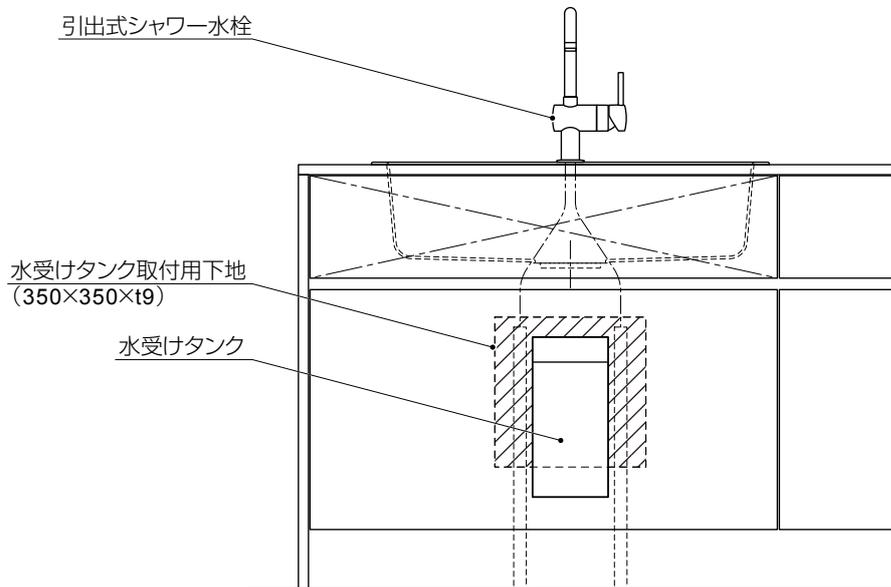


食洗機上フィルターの切り欠き部、端部に鋭利な箇所があります。取付時には保護手袋を着用してください。（切断面に触れるとケガをするおそれがあります）

6. 水栓金具・排水器具・機器類の取付け

① 水栓金具の取付け

- ・ 水栓金具に付属の説明書どおりに、正しく取付けてください。
- ・ 必要に応じて水受けタンクを下地材にネジで固定してください。



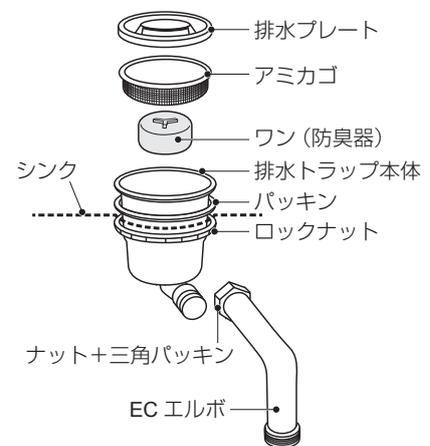
- 詳細な設置方法は水受けタンクに付属の説明書を確認してください。
- タンクの取付位置については、現場にてご検証ください。

② 排水器具の取付け

- ・ 排水器具は右図の順序で取付けてください。

※ ロックナットの締付けは専用の締付工具を使用し、その他のナットは手で漏水のないように確実に固定してください。

※ ECエルボをカットする場合は、必ず排水トラップ側（長い方）をカットしてください。



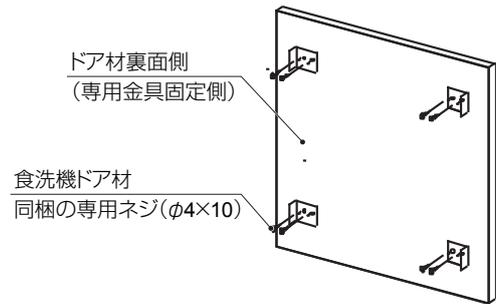
③ 各種機器の取付け

- ・ 各種機器に付属の説明書どおりに、正しく取付けてください。

■ 国産食洗機 設置手順

《食洗機ドア材取付ネジ》

- ※ 食洗機本体に同梱されているネジは長いため使用しないでください。
- ※ 食洗機ドア材の取付金具は部品箱に同梱されている (A トラスφ4×10) ネジを使用して固定してください。
- ※ 金具の取付方法は食洗機本体に同梱されている説明書をご確認ください。

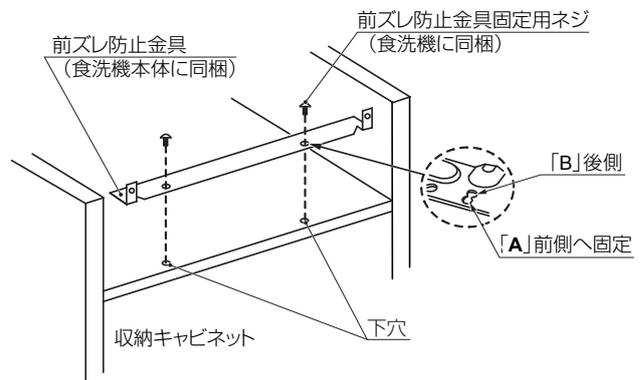


食洗機ドア材に同梱されているネジ(φ4×10)を使用しないとドア材表面に突きキズがつきます。

《前ズレ防止金具の取付け》『対応機種：EW-45**** (三菱電機)』

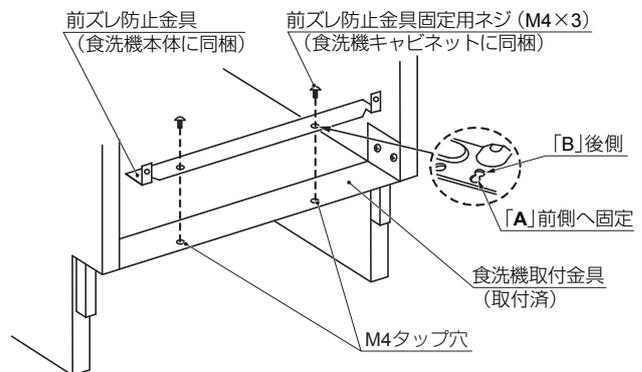
● 食洗機上設置

- ・ 食洗機本体に同梱されている前ズレ防止金具とネジを用いて、前ズレ防止金具を「A」前側に固定してください。



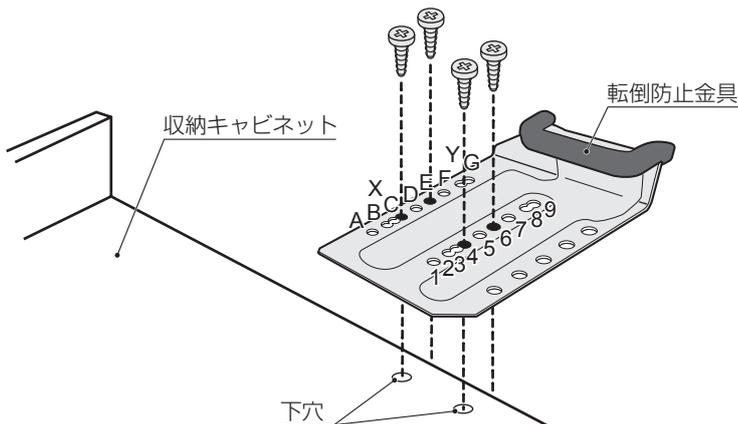
● 食洗機下設置

- ・ 本キャビネットの底板には、食洗機取付金具が取り付けられています。食洗機本体に同梱されている前ズレ防止金具を食洗機キャビネットに同梱されているネジを用いて、食洗機取付金具に前ズレ防止金具の「A」前側を固定してください。



《転倒防止金具の取付け》

- ・ 食洗機に付属の転倒防止金具は付属品のネジ2本と、キャビネットに付属されているネジ2本を使用して4点で固定してください。
- ※ その他の施工に関しては食洗機に同梱の取付設置説明書を参照してください。



- ※ C [4] 列、E [6] 列の穴を使用して、食洗機・キャビネットに付属のネジ4本でキャビネットに固定してください。

C [4] 列ネジ：食洗機に付属
E [6] 列ネジ：キャビネットに付属

- ※ 電動ドライバーは締めすぎることがあるので必ず手締めしてください。

7. 引出し・扉等の取付け

- ・設置前に取外した引出し・扉・棚板・棚ダボを取付けてください。(取付け方は取扱説明書の「各部の調整」を参照してください)

4 設置後の調整・確認

《各部の調整》

設置完了後は、扉や引出しなど、がたつき・緩み・傾きがないことを確認してください。
調整が必要な場合は、取扱説明書「各部の調整」の要領で調整してください。

《設置後の確認》

- 設置状況の再確認
 - 棚板・引出し・扉が、確実に取付けられていることを確認してください。
 - 水栓金具・排水器具が、確実に取付けられていることを確認してください。
 - 必ずシンクと排水トラップ接続部、および給排水接続部の水漏れ検査を行ってください。
- 設置後のクリーニング
 - キャビネットや扉のホコリ・汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

- お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratap.co.jp>
TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

